



Company History



「食」に「感動!」を ピーコック 70年のモノづくり

「飲む」、「食べる」。

毎日の「食」環境をサポートするモノづくりを続けて

2020年9月、ピーコック魔法瓶工業株式会社は

創業70周年を迎えます。

私たちは1950年、東南アジアなどへの輸出用ガラス魔法瓶製造販売会社としてスタートいたしました。

1968年には業界初となる回転式ポットを開発。

その後も真空断熱の技術を活かした様々な製品開発を行い、現在に至るまで多数のエアポット、電気ポット、電気調理器、ステンレスボトル、ランチジャー、キーパーなどの製品を製造販売しております。

2012年には上海に販売会社を設立、マーケットを世界へと広げております。

私たちのモノ作りは、「食」を通して「五感」に触れるモノであるだけに自然に喜んで戴ける「ふれる商品」作りの大切さを感じています。

人生100年時代に益々大切となる「食」。この環境をより豊かで実りあるステージに持ち上げるべく、「地球環境に気を配った誠実なモノづくり」を加速してまいります。



ごあいさつ

当社は今年創業70周年と節目の年を迎えます。

厳しい試練に見舞われることもありましたが、お客様のご愛顧、お取引様の温かいご支援、諸先輩方のご尽力など、皆様のお陰様で今日があると深く感謝しております。

「いち早くお客様起点の商品を創り出す」「いち早く新しい市場を創る」と言う、創業の精神をきちんと継承して、「安心・安全」を大前提に、ライフスタイルの変化を捉え、新たなお客様の課題を発掘して、真に喜んで戴けるもの作りを積極的に進めます。

また現在、社会全体で便利・効率を追い求めてきたことも含めて、地球環境やエネルギーなど様々な問題が露呈している中におきまして、私たちは「地球環境に配慮した企業」として、少しずつでも社会に貢献していきたいと考えております。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくごお願い申し上げます。

代表取締役 山中 千佳



創業当時



現在

社名	ピーコック魔法瓶工業株式会社
創業	昭和25年9月1日
資本金	3,000万円
代表取締役社長	山中 千佳
事業内容	下記商品の製造・販売(日本全国並びに輸出) ガラス製魔法瓶、ステンレス製魔法瓶、電気ポット、 電気ケトル、ステンレスボトル、ランチジャー、 フードジャー、キーパー、電気調理器
関連会社	ピーコック株式会社(輸出部門) 日孔保温瓶商易有限公司(中国上海)
所在地	【本社】〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号
従業員数	約80名
営業所/工場	・東京支店・大阪支店・福岡支店・大阪住之江工場

Peacock Company History 1950～69

1950年 (昭和25年) 創業当初は東南アジアなどへの輸出向けのガラス製魔法瓶を製造。

1951年 (昭和26年) 資本金を100万円に増資。

1953年 (昭和28年) 山中雅文、全国魔法瓶工業組合・理事就任。

1954年 (昭和29年) 『孔雀印マホービン』をトレードマークとして国内販売を開始。12月に東京営業所開設。大阪府知事より大阪府工産品の選定推奨を受ける。

1955年 (昭和30年) 立花製菓用の魔法瓶アイスクリームストッカー生産開始。特徴的なかたちで人気を博した『グランドポット』発売。

1956年 (昭和31年) 哺乳用魔法瓶発売。

1957年 (昭和32年) 南極地域観測隊に魔法瓶30本寄贈。

1958年 (昭和33年) 代表取締役社長に山中雅文が就任。タイ・バンコクに総代理店協成昌有限公司(サハグループ)と泰国工業有限公司と三社で泰国魔法瓶工場を設立。
*資本金2000万円・月産2万本で広口ジャーの生産を開始。

1960年 (昭和35年) ジャパンインターナショナルトレードフェアに参加。

1962年 (昭和37年) ヒット商品となったアイスクリームやスプーンが入る携帯用魔法瓶『スプンポット』発売。

1963年 (昭和38年) 9月、資本金を400万円に増資。11月、資本金を800万円に増資。

1964年 (昭和39年) 5月、資本金を10000万円に増資。6月、通産省より輸出貢献企業の認定を受ける。

1966年 (昭和41年) 5月、資本金を1500万円に増資。11月、通産省より『輸出製品優良工場』として表彰される。

1967年 (昭和42年) 1月に名古屋営業所、3月に福岡営業所開設。6月、通産省より輸出貢献企業の認定を受ける。

1968年 (昭和43年) 世界初回転式卓上マホービンの開発に成功し特許を取得。
*当時「卓上湯差は花柄でないといけない」と言われたが、今度は「回転式でないといけない」というふうに変った。

1969年 (昭和44年) 1968年～69年にかけてイメージキャラクターに今川子さん起用。『クイズタイムショック』に番組開始時のメイン司会を務める。

1950 朝鮮戦争勃発

1951 対日講和条約締結
日米安全保障条約締結

1953 テレビ放送開始

1956 日本、国際連合加盟

1957 日本初の南極観測

1958 東京タワー完成

1960 日米新安全保障条約締結
カラーテレビ放送開始
ベトナム戦争勃発

1961 レジャーブーム

1964 東海道新幹線開業
東京オリンピック開催

1968 東名高速道路開業

1969 アポロ11号月着陸



初期の魔法瓶保存容器



1950年代水筒



グランドポット



1965年頃ポータブルクーラー



世界初 回転式ポット

Peacock Company History 1970～89

1970年 (昭和45年) 山中雅文、日本工業標準規格(JIS S2006)の魔法瓶改正案の業界改正意向報告に帯同。

1972年 (昭和47年) 4月、大阪営業所開設。

1974年 (昭和49年) 山中雅文、藍綬褒章を授与される。レバー式エアポットAR型発売。

1975年 (昭和50年) 新本社社屋竣工。(製造第一ライン完成、1日エアポット4000本・キーパーなら3500本組立て)プッシュ式エアポットPA型発売(胴細ビン)広島出張所開設。

1976年 (昭和51年) 5月、資本金3000万円に増資。

1977年 (昭和52年) エアポット、ハンディポットや保温水筒などのカラー展開が一気に増える。

1978年 (昭和53年) クールボックスIC型発売。金沢出張所開設。花柄のデザインが減り、サイケデリックなデザインが増える。

1979年 (昭和54年) 山中雅文、勲五等双光旭日章を授与される。

1980年 (昭和55年) 山中雅文、全国魔法瓶工業組合の理事長就任。7月、有田焼や美濃焼などの茶器とポットをセットしてギフト用として発売。創立30周年記念パーティーを大阪ホテルプラザにて開催。

1981年 (昭和56年) 貿易会社ピーコック(株)設立・輸出業務を移管。流通ルートの変化に伴う販売強化として、孔雀販売株式会社を設立。7月、新しい消費者のニーズとして『胴多びん』のエアポットPF型発売。11月、太平洋国際見本市(ペルー共和国リマ市)へ参加。(全国魔法瓶工業組合同行)

1982年 (昭和57年) 7月、『胴太』のエアポットとギフトセットのラインナップ充実。11月、大阪府知事より産業振興への寄与により受賞。11月、バグダッド国際見本市参加。

1983年 (昭和58年) デザイン性を重視したハービーポットHPL-500発売。3月、ケルン国際見本市参加。11月、大阪府知事より優良申告法人の表彰を受ける。

1984年 (昭和59年) ステンレスポット第一号AXS型発売。孔雀販売株式会社を解体、ピーコック魔法瓶工業に吸収へ。

1985年 (昭和60年) 山中茂弘社長就任、山中雅文相談役就任。

1986年 (昭和61年) 業界初のステンレス瓶にカラーを施したステンレスポットAXC型発売。ステンレス製のランチャー1号機AXL-17発売。仙台出張所、高松出張所開設。

1987年 (昭和62年) 8月、当社初の電気ポット1号機WAP-2200発売。静岡、四国出張所開設。

1988年 (昭和63年) 1月、スリムでスタイリッシュな『ハーレーポット』HRP-750発売。11月、大阪府知事より優良申告法人の表彰を受ける。

1989年 (平成元年) 5月、札幌出張所開設。ミニホットプレートTU-70グッドデザイン賞受賞。

1970 日本万国博覧会開催

1972 札幌オリンピック開催
沖縄返還

1973 第一次オイルショック

1975 沖縄海洋博開催

1976 ロッキード事件

1978 日中平和友好条約締結
第二次オイルショック

1980 モスクワオリンピック
日本不参加

1982 東北新幹線開通
上越新幹線開通

1983 東京ディズニーランド開園

1984 ロスアンゼルスオリンピック

1984 筑波万博開催

1987 国鉄分割民営化

1988 ソウルオリンピック

1989 昭和天皇崩御
「平成」に改元



レバー式エアポットAR型



プッシュ式エアポットPA型



クールボックスIC型



ステンレスポットAXS型



ステンレスポットAXC型



電気ポット1号機WAP型

Peacock Company History 1990～09

1990年 (平成2年) 2月、新工場と新倉庫竣工。単身者向け電子ジャー炊飯器「JTA-54」開発。

1991年 (平成3年) 商品出荷のオンラインシステム本格稼働。電子ジャー炊飯器JTA-54グッドデザイン賞受賞。電気ポット主力商品へ・発売4年で100万本突破。

1992年 (平成4年) 炊飯器やファミリーレジャー商品の充実を目指す。

1993年 (平成5年) 11月、大阪府福島区税務署長より優良申告法人の表彰を受ける。

1994年 (平成6年) 5月、山中茂弘、全国魔法瓶工業組合・理事長就任。

1996年 (平成8年) ステンレスキーパーIDS-1205/1505グッドデザイン賞受賞。北関東営業所開設。ボタン1つで簡単にお湯が注げる電動給湯ポット1号機WMA型発売。

1997年 (平成9年) 当社初の大容量ステンレスポットAXT型発売。

1998年 (平成10年) 11月、大阪府福島区税務署長より優良申告法人の表彰を受ける。

2001年 (平成13年) ステンレスポットの生産を中国工場にて生産開始。当社初のステンレス製エアポットのMHS型発売。

2002年 (平成14年) 大阪市に住之江工場を開設。12月12日、山中雅文永眠。

2003年 (平成15年) 当社初の保冷専用ステンレスポットADA/ADB型発売。ADA型グッドデザイン賞受賞。

2004年 (平成16年) 3月、ボディにブライト仕上げを施したステンレスハンディポットAHG型発売。

2005年 (平成17年) 大容量保冷専用ステンレスポットADT型発売。

2006年 (平成18年) 3月、当社初のワンタッチ保冷専用ポットADR-F50S/F100S発売。

2007年 (平成19年) 山中佳弘社長就任、山中茂弘会長就任。ステンレスポットマグタイプAMB型発売。

2009年 (平成21年) ステンレスポットAMC型グッドデザイン賞受賞。

1990 消費税3%実施

1991 湾岸戦争勃発
ソ連崩壊

1992 バブル崩壊

1993 Jリーグ開催

1994 関西国際空港開港

1995 阪神淡路大震災
地下鉄サリン事件

1997 消費税5%実施

1998 長野オリンピック開催

2001 USJ開園
アメリカ同時多発テロ

2002 日韓サッカーW杯開催

2004 アテネオリンピック
新潟中越地震

2006 トリノオリンピック

2008 リーマンショック
北京オリンピック



電子ジャー炊飯器JTA-54型



ステンレスキーパーIDS型



電動給湯ポットWMA型



ステンレスポットADA型



グレースマグAMB型



マグタイプAMC型

Peacock Company History 2010～Future

2010年 (平成22年) 創立60周年。セバレート式電気ケトル1号機WAK型発売。

2011年 (平成23年) 本社建て替えのため、国内生産拠点を大阪市住之江工場へ移管。

2012年 (平成24年) アジア市場の販売強化のため中国上海市に日孔保温瓶商貿易有限公司を設立。

2013年 (平成25年) 2月、本社新社屋完成。スポーツドリンクに対応したステンレスポットスポーツマグAMJ型発売。

2015年 (平成27年) 山中千佳社長に就任。リップマグAAT-L35グッドデザイン賞受賞。

2017年 (平成29年) 若年層のトレンドを取り入れたマグボトルAMZ-40発売。女性のバッグを意識したミニボトルAKB-20発売。

2019年 (平成31年) (令和元年) 3月7日、山中茂弘永眠。新企業理念の『食に感動を!』を基に新規開発スタート。新ブランド「ilma(イルマ)」から電子レンジ保温調理器リビングジャーを発売。

2020年 (令和2年) ピーコック魔法瓶工業創業70周年を迎える。

2010 東北新幹線開業

2011 東日本大震災

2012 東京スカイツリー開業

2014 消費税8%実施

2015 北陸新幹線開業

2016 リオオリンピック
熊本地震

2019 消費税10%実施
新元号「令和」に改元

2020 東京オリンピック開催



電気ケトルWAK型



リップマグAAT-L型



ステンレスポットマグタイプAMZ-40



ilmaリビングジャー



昭和25年の創業より、当社は魔法瓶を軸とし「誠実なモノづくり」を続けてまいりました。この先100年企業を目指し、人が生きるために必要な「食」の環境を、より豊かで実りあるステージにするために、革新・進化に挑戦しながら、「感動」ができる製品をお届けできるよう、取り組んでまいります。

